



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 アプライド株式会社

上場取引所 東

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,927	1.9	790	4.2	786	4.6	503	8.4
29年3月期第3四半期	22,508	10.4	824	34.5	824	6.2	549	11.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 499百万円 (10.1%) 29年3月期第3四半期 555百万円 (12.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	198.31	
29年3月期第3四半期	216.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,406	4,656	31.8
29年3月期	13,090	4,271	32.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,580百万円 29年3月期 4,191百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		30.00	45.00
30年3月期		15.00			
30年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	2.5	1,280	1.5	1,280	1.6	680	1.8	267.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,703,200 株	29年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	165,452 株	29年3月期	165,394 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,537,754 株	29年3月期3Q	2,537,898 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用情勢等の改善により、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。また、米国経済は景気回復が持続しているものの、世界各国において、政治、政策面で、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、ハードとサービスを融合した販売を中心に据え、専門店として特化した営業展開を図り、顧客増大と利益創出を推進いたしました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」25店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」4店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」4店舗を運営し、専門店としての品揃え、サービスを追求し、差別化を推進いたしました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、22拠点体制で、技術力を活かした高付加価値商品及びサービスを軸に、ソリューション営業を推進いたしました。

B to B販売を中心とした特機営業では、人員増強による販路開拓に注力し、システムによる顧客の囲い込みを推進し、売上の増大を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は229億27百万円（前年同期比1.9%増）、利益面におきましては、経常利益は7億86百万円（前年同期比4.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億3百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

- ① パソコン・ゲーム事業は、専門店として、独自商品及びシステム・サービスの提供を重点項目として取組み、他社との差別化を推進し、売上高は200億円（前年同期比1.5%増）となりました。
- ② 化粧品・雑貨事業は、大型店による店舗販売を強化し、オリジナル商品の投入及びデジタル販促を駆使した集客の展開やイベントの開催による顧客の増大に取組み、売上高は26億72百万円（前年同期比5.8%増）となりました。
- ③ 出版・広告事業は、紙媒体に加え、デジタルを応用した送客システムやイベントの開催を行うことにより、売上高は2億53百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億15百万円増加し、144億6百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加10億44百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ9億30百万円増加し、97億49百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加8億46百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円増加し、46億56百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加3億89百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、31.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では、平成29年5月12日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	812	949
受取手形及び売掛金	5,252	6,297
たな卸資産	1,580	1,638
その他	296	331
貸倒引当金	△99	△164
流動資産合計	7,842	9,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,733	1,777
土地	2,563	2,563
その他(純額)	87	136
有形固定資産合計	4,384	4,477
無形固定資産	17	78
投資その他の資産		
敷金及び保証金	737	691
その他	109	106
投資その他の資産合計	846	797
固定資産合計	5,248	5,354
資産合計	13,090	14,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,993	2,209
短期借入金	1,001	1,848
1年内返済予定の長期借入金	915	877
未払法人税等	264	110
賞与引当金	176	75
ポイント引当金	54	60
その他	1,330	1,317
流動負債合計	5,736	6,499
固定負債		
長期借入金	2,536	2,726
長期未払金	402	402
退職給付に係る負債	143	116
その他	0	4
固定負債合計	3,082	3,249
負債合計	8,818	9,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	406	406
利益剰余金	3,495	3,884
自己株式	△92	△92
株主資本合計	4,191	4,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
非支配株主持分	80	76
純資産合計	4,271	4,656
負債純資産合計	13,090	14,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	22,508	22,927
売上原価	17,237	17,562
売上総利益	5,271	5,365
販売費及び一般管理費	4,446	4,574
営業利益	824	790
営業外収益		
受取利息	3	2
受取手数料	11	7
協賛金収入	7	8
受取補償金	3	-
その他	5	6
営業外収益合計	31	25
営業外費用		
支払利息	29	26
その他	2	3
営業外費用合計	31	29
経常利益	824	786
税金等調整前四半期純利益	824	786
法人税、住民税及び事業税	205	271
法人税等調整額	62	15
法人税等合計	268	286
四半期純利益	555	499
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	549	503

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	555	499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	555	499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	549	503
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△3



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

たな卸資産のうち、商品、製品及び原材料の評価方法は、従来、主として先入先出法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から主として移動平均法に変更しております。

この評価方法の変更は、当連結会計年度における在庫管理システム更新を契機に、期間損益計算をより適正にするために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及修正は行わず、前連結会計年度末の商品、製品及び原材料の帳簿価額を第1四半期連結会計期間の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。